

こどもの救急と町田市民病院の救急受診

町田市民病院 2017 年度 第 1 回市民公開講座
小児科 藤原 優子

町田市小児人口は約 6 万人、小児 2 次救急病院は町田市民病院のみ、小児病床 34 床、NICU6 床で稼動しています。2016 年度より一次医療は休日・準夜急患こどもクリニックを含む町田市医師会の先生方、二次医療は市民病院、さらに近隣の 3 次医療病院と連携し、紹介・逆紹介をして地域で完結する医療を行っています。午後 5 時から朝 8 時半まで 1 人の医師が新生児を含む管理を担っています。

時間外のこどもの救急はどのタイミングで受診すべきか迷うでしょう。
#8000 は電話相談（東京都は 18 時から 23 時まで）です。23 時から朝まで迷う場合、日本小児科学会や町田市民病院小児科の HP からアクセスできるツールを利用するとよいでしょう。

5 月の救急受診では半数がご家族の判断で受診されていますが、二次救急入院になるのは 6.5%、休日・準夜急患こどもクリニックを含むご紹介のお子さんは 41%が二次入院となっています。救急車搬送の 12.3%のみが二次入院で、実は救急車で受診ではなくタクシーや自家用車で受診すべき病気が多いのです。かかりつけ医との良好な連携で不要不急の受診を避けることができます。

受診するまでのホームケアは大事です。こどもの救急の対応を日ごろから学んで、ご家族であわてない環境をつくっていきましょう。